

3 (自由提案部門)

事業名	島根バリアフリー啓発のためのオリジナルビデオ「てくてく島根 The MOVIE」の制作
実施主体	NPO法人 プロジェクトゆうあい
県担当課	障害者福祉課

事業の成果

事業の目的 [保健福祉]

- 障害について理解を深めるための教材用ビデオを制作すること。

事業の内容

- 島根ライトハウスライブラリーや、市民活動センター、お年寄りにやさしい町である天神町などを舞台として、主役である小学生の目からバリアフリー、ユニバーサルデザイン、ボランティアについて考えるきっかけとしてビデオ(DVD)を制作した。



目的の達成状況 [十分達成できた]

- ビデオ(DVD)制作のなかで、バリアフリー(ユニバーサルデザイン)に関するメッセージをうまく表現することができた。
- ビデオ(DVD)は約20分で、視覚障害者の生活や行動を軸として、健常者がどのように障害者に接したらよいかを考えさせる内容を盛り込み、あまり、教条的な内容とせずに、ひとつのストーリーに沿った、見て楽しむことが出来る内容に仕上がった。

反省点・改善点

- 制作のスケジュールが厳しくなった。余裕を持った制作進行が反省点。

協働の効果

県との協働内容 [協働して実施した]

- 制作に当たっての依頼に際して、県協働事業であることが有効に作用した。

県との協働効果 [概ね効果があった]

- 制作に当たっての依頼に際して、県協働事業であることが有効に作用した。

県への要望事項 [特にない]

反省点・改善点 [特にない]

市町村との協働 [協働して実施した]

- 松江市の教育委員会を通じて、教職員研修の際にDVDを紹介させていただいた。

事業の継続

事業成果の活用 [活用されている]

- 県内の小学校を中心として、DVDの教材としての利用を広めている。

事業の継続状況 [助成を受けずに継続実施している]

- 昨年度は視覚障害者を主なテーマとしてDVDを制作。
- 本年度は聴覚障害者を主なテーマとして制作。

協働による発展 [協働により発展できる]

- DVDの活用の場面を紹介していただきたい。

